

参考資料 1-2

削除: 2

削除: 4

ETVのISO化に関する国際動向

本資料においては、前回運営委員会からの進捗を下線で示す。

1. IWG - ETVの最新動向

アメリカ、カナダが中心となり、ETV事業の国際連携・相互認証に向けた作業部会として、IWG - ETVが立ち上げられた。ETV事業を実施している、カナダ、欧州委員会、韓国、フィリピンがメンバー国であり、日本、米国、中国はオブザーバーとして参加している。

2012年5月25日にベルギーのブリュッセルで、第8回IWG - ETVが、2012年9月13日に韓国のソウルで、第9回IWG - ETVが開催されるとともに、2か月ごとに開催される電話会議で、ETVを実施する各国間での情報共有が行われている。

第8回、第9回IWG - ETVの概要は以下のとおり。

削除: 今後、2014年1月頃にカナダで、第10回IWG - ETVが開催される予定となっている。

(1) 第8回IWG - ETV (2012年5月25日、ベルギー・ブリュッセル)

EU域内での国際連携の先行的取組であるAdvance ETV ()の後に開催され、ISOへ提出する資料の検討が行われた。カナダ、欧州委員会、韓国、フィリピン及び日本が参加した。

Advance ETV (2012年5月22日~24日) について

標準化された環境技術実証事業 (ETV) を念頭に、試行的に2012年末からEU域内で実施する取組み (Pre program) について、検討するもの。EU諸国の分析機関、試験機関や建材等業界団体関係者のほか、カナダ、フィリピン、韓国、米国及び日本の政府関係者が参加し、以下のテーマごとに意見交換が行われた。

EUにおけるETVの導入背景等

EUにおける実証試験の実施状況

Pre programの開始に向けた実証機関の公募

各国のETV事業の最新動向

ETVのマーケット分析

(2) 第9回IWG - ETV (2012年9月13日、韓国・ソウル)

環境技術実証事業 (ETV) の普及を目指す第5回国際ETVフォーラムの後に開催され、以下の議題の検討と各国のETVの最新動向の共有がなされた。メンバー国のカナダ、欧州委員会、韓国、韓国、オブザーバー国の中国及び日本のほか、ベトナム、インドネシア、マレーシア、カンボジア、シンガポール等の東南アジアの国々が参加した。

(第9回IWG - ETVの検討議題)

普及啓発の展開

IWG - ETVの共通ウェブサイトの創設

ISOプロセスへのインプット

IWG - ETVのパンフレットの作成

エコラベル等の機関との連携

2. ISO化の動向

環境技術実証事業 (ETV) に係る提案書 (NWIP) が10月16日にISO事務局により正式に受理され、ISOのTechnical Committee207のSub Committee4 (SC4) にてISO-ETVが検討されることとなっている。

90日間の投票期間が設定されており、2012年11月8日に、ISO事務局からTechnical Committee207のSub Committee4のメンバー国に対し、提案に対する検討の賛否の照会がなされた。その結果、2月8日に、国際標準化機構 (ISO) より、賛成多数で可決となったとの連絡があった。今後、ISO - ETVの検討を具体的に進めるためのワーキンググループ (WG) が立ち上がる見込み。

WGは各国から推薦される専門家から構成され、ISO-ETVの基準の検討が行われる予定であり、カナダは同WGの主査になる表明をしている。

なお、現段階で回覧されている文書は、以下のとおり。

- ・ ISO/TC207 on Environmental Management Chair's Advisory Group Portfolio Task New Work Item Proposal Assessment
- ・ Portfolio Task Force Evaluation One paper
- ・ Annex A (Illustrative design specification of proposed ISO/ETV standard)

削除: (締切: 2013年2月8日) 我が国としては環境省と経済産業省との協議を踏まえ、「賛成(条件付)」にて投票を行った。

書式変更: 下線

削除: その結果

削除: TC207 SC4 参加メンバー国 49ヶ国のうち、40ヶ国が投票、26ヶ国が賛成、1ヶ国が反対、13ヶ国が棄権となり、

削除: の運び

削除: 今後、2013年5月頃にISO-ETVのドラフトができ、構造が明らかになる見込みであり、その後、2013年6月第3週頃にボツワナで第1回ワーキンググループが、2013年11月頃にカナダで第2回ワーキンググループが開催される予定となっている。